

みやぎの木づかい運動



みやぎ材利用のススメ

＜みやぎ材利活用事例集＞

VOL.2



宮城県

「みやぎの木づかい運動」とは？

県内の森林資源は、スギを中心とする人工林の成長により、良質な県産材を安定的に供給できる時期を迎えています。

この森林資源を有効利用することにより、森林の整備が推進され、ひいては森林が持つ「災害の防止」や「地球温暖化の防止」、「水資源のかん養」といった公益的機能の発揮にもつながります。

県では、一層の県産材の利用拡大を図るため、県内の市町村、関係団体、企業等と広く連携し、県産材利用推進のPRを行う「みやぎの木づかい運動」を展開しています。

皆さんも、できるところから木をつかってみませんか？

<みやぎの木づかい事例>



1

木製ベンチ (商品名：ひとやすみ君)

JR仙台駅構内の待合室に木製ベンチが設置されています。長年使用されて傷んだことから、表面を削り直して再塗装しました。

木材は、Reuse(リユース：再び使う)できる優れた素材なのです。

2

丸太イス (商品名：きりかぶ君)

平成19年3月にオープンした仙台空港鉄道「仙台空港駅」構内に丸太のイスが設置されています。

すわり心地は、木のぬくもりが直に感じられると評判です。また、新しい駅の景観にもマッチしています。



3

木製パンフレットスタンド (商品名：パンフレット君)

仙台市泉区にある「七北田公園都市緑地ホール」に木製パンフレットスタンドが設定されています。木の木目が目に優しいと評判です。



4

ウッドデッキと木製ベンチ

プロ野球チーム楽天のホームである宮城球場周辺には、ウッドデッキや木製ベンチなどが設置され、観戦者の憩いの場となっています。

この空間を使った様々なイベントやアトラクションも行われています。



5

木製フラワーポット

松島町高城町の商店会では、車止めの役割を果たす木製フラワーポットを設置しました。街を歩く人にも車にも優しい上、景観にも配慮されています。

6

木製バリケード (商品名：看^レバリ君)

スギの間伐材を使用した木製バリケードです。よく道端で見かけるオレンジと黒のスチール製バリケードに比べ、暖かい感じがすることから、ホテルや公共施設でも使われています。



CSRと 木製品

最近、CSRという企業が社会に対してさまざまな貢献を通して社会的責任を果たそうという活動が盛んに行われています。典型的なCSR活動としては「地球環境への配慮」があげられ、県内の企業においても、環境資材として地域の木材を活用した製品を公共施設等へ寄付するなどの活動も多く見られてきました。

<シンボルマーク>



「みやぎの木づかい運動」を统一的に推進するためのシンボルマークを公募により決定しました。みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

■製品に関する問い合わせ先

- ・南たんがら森 (①②③)
TEL 022-345-7271 FAX 022-345-2631
- ・津山小径木加工生産組合 (④)
TEL 0225-69-2752 FAX 0225-69-2731
- ・宮城南部流域森林・林業活性化センター仙台支部 (⑤⑥)
(宮城中央森林組合内)
TEL 022-372-3640 FAX 022-372-8574

みやぎ材利用センター

■みやぎ材利用センターとは

みやぎ材製品のワンストップ窓口として、「みやぎ材利用センター」が平成18年7月にオープンしました。

みやぎ材利用センターは、住宅や公共施設建築に使用する建築資材や土木用資材などのみやぎ材製品を「優良みやぎ材」として安定的に供給するとともに、消費者から信用され、安心して利用できるよう、産地や生産者あるいは含水率や強度などの製品情報も提供しています。

製品に関するお見積り・ご注文等は、下記の建築資材部・土木資材部・合板資材部まで直接お問い合わせください。

建築資材部



■主な取扱製品

構造材(土台・柱・梁・桁など)・造作材(天井・敷居・鴨居・枠材・床材・壁面材など)・下地材などの建築用資材

■施工事例



県産材をふんだんに使った住宅は、住む人に暖かみと安らぎを感じさせてくれます。また、木は本来、強度・断熱性・耐火性・耐久性などバランスのとれた能力を持っています。



問合せ先

〒983-0036
仙台市宮城野区若竹二丁目7-30
(宮城木材文化ホール内)
TEL 022-239-2011 (FAX兼)

土木資材部



■主な取扱製品

杭丸太・加工丸太・チップ材などの土木用資材

■施工事例



道路の法面工事など修業を必要とする工事や、急勾配護岸工、擁壁工、流路工等に利用されています。



水田における増産減水材として木材チップを使うと長期間効果が持続します。

問合せ先

〒981-3601
黒川郡大衡村大瓜字寄掛112
(宮城県森連大衡総合センター内)
TEL 022-345-2205(代)
FAX 022-345-2948

合板資材部



■主な取扱製品

県産合板
(構造用合板・型枠用合板・厚物合板・長尺合板など)

■施工事例



厚物合板を床に使うと、打打ち梁と根太の省略で施工が容易になり、地震に対する性能がアップします。



県では、公共事業の型枠工事に県産合板の使用を推奨しています。

問合せ先

〒986-0005
石巻市大瓜字棚橋下待井65-1
(石巻地区森林組合内)
TEL 0225-93-1711(代)
FAX 0225-93-1707

優良品やぎ材とは

みやぎ材利用センターでは、県内産の木材を原料に県内で加工された木製品について、規格や寸法、含水率などの品質を検査し、合格した製品を「優良品やぎ材」として供給しています。

Eは、ヤング係数といい、木材の強さを数値(tf/cm)で表しています。この数値が大きい方が変形しにくく丈夫な木材です。E50は、柱材に適しており、E70は柱材や荷重の少ない横架材に、E90以上はたわみが重視される横架材に最適です。



構造材は1本1本機械により品質検査を行い、材面に品質検査結果が印字されます。SD(Surfaced Dry)とは表面仕上げされた乾燥材の略です。SD15は、表面仕上げ済み乾燥材で、含水率15%以下を表しています。



品質を検査し、合格した製品には、安心・安全の証として「優良品やぎ材認定シール」を貼付します。

また、原木生産地名や製材・加工社名などを証明するため、「優良品やぎ材 認証書」も交付します。

「みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業」

(市町村振興総合補助金メニュー)

宮城県では、県民のみなさんに安心・安全な木のやすらぎの空間を提供するとともに、その事例について広くPRすることにより、県産材製品の利用促進と木造・木質化施設の普及促進を図ることを目的とし、下記の助成事業を実施しています。

- 1 事業内容
公共施設等における木材の良さを活かした内装等のモデル施工及びPR活動に対する助成
- 2 対象事業実施主体
市町村又は公益法人、社会福祉法人、学校法人、NPO法人等
- 3 補助率等 事業費の1/3以内
- 4 要件等
(1) 木材の特性を活かしたモデル施工として工夫がなされていること。
(2) 木材の良さ・地域材利用の意義等がアピールされ、波及効果が期待できること。
(3) 使用材料は、品質の明確な製品である「優良品やぎ材」等を活用したものであること。



■ 施行事例 (加美町立広原小学校)

平成18年に完成した新校舎に木製の机とイスが本事業により導入されました。軽くて温もりがあり、生徒にも大好評です。

公共施設等木質化の事例

大崎市 鳴子峡レストハウス



レストハウスの全景

年間約20万人の観光客が訪れる鳴子峡は、宮城県重要な観光資源です。平成19年10月に、老朽化したレストハウスを、県産材を活用し改築しました。レストハウス内には、売店やレストラン、トイレがあり、外観にも木材をふんだんに使用したことから、周辺の景観とマッチングしています。

なお、建設にあたっては宮城県市町村振興総合補助金「みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業」の助成を受けています。(P5参照)



ウッドデッキ



売店

宮城県庁舎内

木づかい運動の一環で、平成19年には、県庁内の各施設において県産材がたくさん使われました。



県庁舎低層棟3階にある「みやぎっこ保育園」は、県民間開放型の保育園で、平成19年10月にオープンしました。床は県産スギの無垢フローリングで、子供たちが裸足で元気に走り回っています。



県庁1階にあるドトールコーヒーショップ内は、全体的に木で囲まれた空間に包まれています。テーブルの一部やパーテーションに県産材を使用しました。



県庁2階にあるコンビニエンスストア「ローソン」では、イートインコーナーに木製フェンスを設置し、柔らかな空間を演出しました。



県庁1階ロビーには、県産材を活用した木製ベンチを設置しました。座面に畳表を敷いたことで温かみが増し、来庁者の評判も上々です。

大崎市鳴子温泉 車湯バス待合所

築50年を経過した初代待合所が老朽化で取り壊され、バス利用客が不自由する中、地元の林業後継者グループにより、スギ間伐材を使用して新たに待合所を設置しました。木製の床に十数人が懸掛けられる木製ベンチがしつらえられ、木の香りと温もりが充満しています。



柴田町立 船岡保育所



子供たちに木の持つ柔らかな質感や温かみを体感してもらうため、木材をふんだんに使いました。

また、周辺住宅とマッチするように外観にも配慮しました。

七ヶ宿町立 湯原小学校体育館



子供たちの環境教育のため、町内産材の活用にこだわって建設されました。

東松島市 治山工事



「丸太構工」の施工により、省資源・リサイクルの推進や景観配慮、地域素材導入を促進しながら、健全な森林の復旧を図る工事です。

石巻市 渡波駅前広場公衆トイレ



木造復元船「サン・ファン・パウティスタ号」をイメージし、木材を表しにして建築されました。県内のスギ・アカマツを使用しています。



東松島市 上河戸若葉集会所



集会所内



和室



●お問い合わせ先●

宮城県 農林水産部 林業振興課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL: 022-211-2912

FAX: 022-211-2919

ホームページ: <http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/>

E-mail: rinsin@pref.miyagi.jp